平成24年2月14日

各　　位

会 社 名　昭和ホールディングス株式会社
代表者名　代表執行役社長　重田　衞
（コード番号 5103 東証第二部）
問合せ先　執行役財務総務担当　庄司 友彦
（TEL. 04－7131－0181）

特別損失（持分変動損失）の計上に関するお知らせ

当社は、平成24年3月期第３四半期決算（平成23年10月1日～平成23年12月31日）の連結決算において、連結孫会社の増資に伴い、持分変動損失を計上することとなりましたのでご報告いたします。

記

１．特別損失の内容

持分変動損失　　31,383,629円

２．計上の理由

当社の連結孫会社であるGroup Lease PCL（以下「ＧＬ」といいます。）はタイにおいてオートバイローンの引き受け事業を営んでおり、タイ国内の需要の高まりを背景に積極的に事業拡大に取り組んでまいりました。また同社は事業の拡大に伴って継続的に発生する事業資金の需要を勘案し、タイ国内の主要銀行からの資金調達を行うとともに、更なる資本の充実をはかるため2009年１月に既存株主に対する新株予約権を付与しておりました。

このたび、発行済新株予約権のうち、6,443,985個が行使されることによりＧＬの資本は148,211,655バーツ（363,118,554円　行使前発行済み株式数の10.3%）が増強されておりますが、当該新株予約権の増資により、当社の連結子会社（ウェッジホールディングス株式会社）のＧＬ保有比率は一時的に低下し、43.98%から39.86%になっております。

以上の持分の変動により、持分変動損失が31,383,629円発生いたしました。

３．今後の見通し

ＧＬは、平成23年９月30日時点で既に負債比率が1.08となっており、極めて低い負債比率となっていました。この度の増資により、さらに負債比率が低下し、平成23年12月31日時点においては負債比率が0.69となっております。ファイナンス企業としては極めて低い数値であり、強固で保守的な財務基盤となりました。当社グループといたしましては、タイ国内の経済が好調であり、今後洪水からの復興需要が見込まれていることや、ＧＬ自身が東南アジア全域での事業展開を目指していることなどから、ＧＬは今後資金を活用できるものと考えております。このため、ＧＬの資本が増強されたことを歓迎しております。これにより、今後は負債比率低下による利益率の向上、あるいは営業の進展に伴う総資産の増加を促進する要因であり、ＧＬが機動的に成長戦略をとるために良い影響を与えるものと考えております。

当社にとっては持分の低下や一時的に損失が発生するものの、中期的にはＧＬの資本増強による増益効果、事業拡大によって、利益が拡大する契機になると考えており、これらの効果は当然に当社グループに取り込まれることとなります。

当社グループは、当該の新株予約権を保有していなかったことから、この度の資本増強には参加しておりませんが、ＧＬの事業の拡大を好感しており、また、タイ国内および、国境を越えた事業展開を見越して、今後とも必要に応じたＧＬの資本増強には積極的に協力する方針としております。当社グループは従来から同社取締役会へ過半数の役員を派遣するなど経営資源の強化に取り組んでまいりましたが、今後も主要株主と協力的な関係を保ちながら、当社グループの中核であるＧＬの事業の拡大を積極的に支援していくとともに、適切な時期には当社グループの株式保有比率を上昇させる方針です。

尚、現時点において、本件持分の変動に伴う業績予想の修正は行いません。

今後、開示を行うべき事項が生じましたらご報告させていただきます。

以　上